

## MARCで探そう! Q&A

その1 〇〇賞を受賞した作品を探す

このコーナーでは毎月 MARC や TOOLi を使った便利な検索方法をご紹介します!

Q. 芥川賞を受賞した作品が読みたい!

A. 受賞情報から検索できます!

毎年1月には前年下半期の芥川賞・直木賞の発表がありますね。今回はどの作品が受賞するのでしょうか。TRC MARCには**文学賞受賞情報**も入力しています。過去に芥川賞を受賞した作品が読みたいという時は、TOOLi 図書検索画面の「受賞情報」欄に「芥川賞」と入力すればOK。コード化情報と掛け合わせることで「芥川賞を受賞した作品の大活字本」といった検索も可能です。

→「受賞情報」欄に「芥川賞」と入力 × 「刊行形態」の欄で「大活字」を選択

他にも、「本屋大賞」「料理レシピ本大賞 in Japan」など、さまざまな賞を検索できます。

(どんな賞を入力しているかは、TOOLiのお知らせ>文学賞受賞情報 からご確認いただけます。)

また、TOOLiの「受賞情報」欄は、**部分一致検索**が可能になっているので賞の名称がうる覚えでも大丈夫。ただし、ヨミは持たせておりませんので、必ず漢字形での検索をお願いいたします。

文学賞を受賞した作品の検索にぜひご活用ください!



## 電子コンテンツのMARCのはなし Vol.1

最近導入が増えている「電子図書館」。実はTRCでは、電子コンテンツに対してもMARCを作成しています。電子コンテンツのMARCがあることで、紙の本と同じようにヨミや分類からの詳細な検索が可能です。また、図書館システムの設定次第では、紙の本と電子コンテンツをまとめて検索することも可能になります。このコラムでは、電子コンテンツのMARCって紙の本のMARCとどう違うの?という疑問にお答えします。

TRC MARCの大きな特徴のひとつ「現物主義」。これは電子コンテンツのMARCになっても変わりません。PCで1件ずつコンテンツを開いて情報源を確認しながらMARCの作成を行います。

紙の本のMARCと大きく違うところは、MARC作成の4情報源のひとつ「背」が電子コンテンツにはありません。そのため、電子コンテンツに限っては3情報源(標題紙・奥付・表紙)よりMARC作成を行っています。

紙の本でも一番多く情報が載っており、MARC作成の重要な情報源である「奥付」。今回は奥深い電子コンテンツの奥付についてご紹介いたします。

### ..私の好きなタグ..

タグとは?

→「251A」は本タイトル、「251F」は責任表示...など、MARC中の項目が何を意味しているかを示す英数字。データ部員が自身の好きなタグについて熱く語ります!

### 377L = 書誌・年譜・年表

図書に書誌や参考文献リスト、年譜・年表などがある時に入力するタグ。文献リストや年譜・年表は巻頭・巻末にまとまっていることが多いですが、中には目次を見てはじめて気づけるような控えめなものも...。MARC作成時にはちょっとした宝探し気分です。そして入力すべき情報を見つけて「377L」のタグを起こす瞬間、キーボードで普段あまり使わない「L」のキーを押せるのが密かな楽しみでもあるのでした。(新刊 M.H)

MARCを作る日々の記録



TRCデータ部ログ  
http://datablog.trc.co.jp/



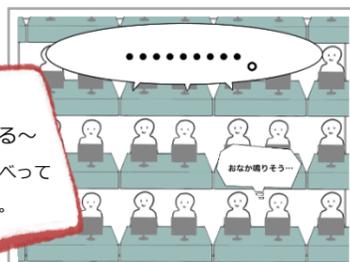
### 《編集後記》

昨年夏から準備を進めてきましたTRC MARCpedia、ついに創刊です。次号はMARCの中身について大解剖!ぶーすけが張り切って解説します。どうぞお楽しみに!(S)

TRC MARCpedia Vol.01 2021年1月12日発行  
制作:株式会社図書館流通センターデータ部  
〒112-8632 東京都文京区大塚3丁目1番1号  
Tel: 03 (3943) 2229

### データ部より

~データ部あるある~  
100人いても誰もしゃべって  
いないことが多々。



# TRC MARCpedia

ご挨拶

TRC MARC が誕生して早40年。

これまで日本全国の図書館にてご利用いただけてきました。

もっと便利に、もっと楽しく使っていただきたい。

そんな思いから、このたび「TRC MARCpedia」を創刊することとなりました。

図書を愛し、知の館を支えるみなさまへ、

月に一度のささやかな「ほっこり」と「なるほど!」をお届けできますように。

全18回予定、どうぞよろしくお願いたします。

こんにちは!ぼくはTRCデータ部のぶーすけ。よろしくね。

図書館での検索やお仕事のお役に立てるよう、TRC MARCについてこれからたっぷり紹介していきます。この冊子は毎月ファイリングすると、簡単なMARCマニュアルになるので、ぜひたくさん使ってね!



### ■刊行予定 (変更する場合があります)

2021年1月12日	TRCデータ部大解剖	10月12日	雑誌データ大解剖
2月9日	TRC MARC大解剖	11月9日	TOOLiで探そう!
3月9日	更新データ紹介	12月14日	『週刊新刊全点案内』のポイント
4月13日	分類件名	2022年1月18日	Tタイプ改定の解説
5月18日	目録①	2月8日	
6月8日	典拠ファイル	3月8日	
7月13日	児童書MARC	4月12日	
8月17日	目録②	5月17日	
9月14日	AV MARC大解剖	6月14日	

・毎月第2週発行の週刊新刊全点案内に同封いたします。

# TRCデータ部大解剖



TRCデータ部では、毎日約 200 冊の新刊図書の MARC を作成しています。書店発売の数日前に取次会社から入荷する、実際に流通する図書を使ってデータを構築。第 1 回はそんな MARC 作成の現場をレポートします！

## 新刊図書流通と TRC MARC 作成スケジュール



## 内容目次班

タイトルやサブタイトル、あらすじには入らないようなキーワードから図書を探せたら…。そんな願いを叶えるのが「**内容目次班**」。1 冊の図書に複数の独立した作品を含むもの（短編集や論文集など）について、個々のタイトルや著者名から検索できるようにする**内容細目ファイル**と、ノンフィクションの児童書や楽譜、研究者や大学向けの専門書の目次をまるまるデータ化する**目次情報ファイル**を作成しています。

## 写真班

真っ黒のカーテンの中で行われているのは…**表紙撮影**！図書の顔である表紙は選書の際に重要な要素の一つ。この暗室の中で 1 冊 1 冊手作業で表紙を撮影し、MARC に結び付ける作業を行っています。凹凸があったり、キラキラのホログラムで輝く図書などは撮影が大変！「**写真班**」の腕の見せ所です。

## 典拠班

「この図書はだれが書いたの？」  
「〇〇さんの別の作品が読みたいなあ」  
「えっ！この人こんな別名を持っていたの!？」  
著者に関することならば「**典拠班**」におまかせあれ！誰がその図書を書いたのか、著者の情報を**典拠ファイル**として作成・管理・維持しています。同姓同名の別人を区別したり、シェイクスピアとシェークスピアなど、図書によって表記の違う人物をひとまとめにすることで検索漏れを防いだり、名前を使い分けている人を結び付けたり。典拠ファイルを用いることで、検索の幅がぐっと広がります。

## 新刊班

取次会社はじめ、各所より集めた新刊図書の受け入れ・MARC No.の発番を担当するとともに、図書の基本プロフィールを入力しているのがここ「**新刊班**」。タイトル・著者名（典拠班と連携）・出版者・シリーズといった検索の要になる部分はもちろん、大きさ・ページ数・装丁の種類などの形態も細かくチェックします。図書館での検索や選書のポイントになる要点を押さえ、図書全体をあちこち丁寧にしながら MARC を完成させていきます。正確なデータを作るため、1 冊に対し複数人が何重にもチェックして確認しています。

## 分類件名班

膨大な数の資料を所蔵する図書館で、どこに配架するかを決める重要な役割を担う分類記号や件名。「**分類件名班**」では 1 冊 1 冊の中身を確認し、日本十進分類法(NDC)に則り分類記号を与えています。キーワードで主題を表す件名や、児童の調べものを助ける**学習件名**もここで付与。より細かい内容で検索可能な TRC オリジナル項目の**ジャンル**も充実させています。

## 内容紹介班

一体どんなことが書かれた図書なの？選書の際大きなポイントとなるあらすじや特徴を入力するのがここ「**内容紹介班**」。カバー・帯や本文、まえがき・あとがきなどから要旨をつかみ、図書の紹介文を 105 文字以内でまとめています。また児童書には、子どもが自分で内容を理解し本を探せるよう、よりやさしい文章でまとめた**児童用内容紹介文**も入力しています。

データ部をぐるっと囲むのっぽの本棚にも工夫が！図書館のように、図書にバーコードを貼り付けることはできないため、1 冊ごとに MARC No.をリンクさせた**IC タグ**を挟んで作業します。データ部にある棚と個人の机には、IC タグと連動して本がどこにあるか教えてくれる IC リーダーを設置。図書が部内をあちこち動き回る MARC 作成工程の大きな力になってくれています。

週刊新刊全点案内に掲載するのは文字通り 1 週間分の新刊図書。週刊誌であるため作業にバッチがあります。そのため入荷した曜日ごとに IC タグの色を分け、バッチを意識しながら効率的に作業を進めています！  
(新刊案内については Vol.12 にて特集します)

- 遡及班**・・・図書館蔵書の MARC 作成を担当。行政資料や地域資料など、一般には流通しない資料の現物を図書館からお預かりしてデータ作成しています。
- 雑誌班**・・・書店発売されている雑誌のデータ作成を担当。図書館で多く所蔵されている雑誌には目次情報も入力し、特集タイトルやインタビュー・対談のゲストなど、細かいキーワードからの検索が可能です。雑誌は刊行スケジュールがタイトなため、1 日で各工程を駆け抜け猛スピードでデータを作成！書店発売日の朝にはデータが完成しています。
- AV 班**・・・Audio Visual = 視聴覚資料の MARC 作成を担当。録音資料の MARC には収録曲のタイトルやアーティスト名を入力し、TRC 独自の音楽分類・音楽件名も付与しています。
- 特注班**・・・図書館からのさまざまなご要望に応じて、オリジナルの仕様の MARC 作成を担当。パンフレットや江戸時代以前の図書、外国語の図書など、幅広い資料に対応しています。

もうひとつ上の階では…